

2012年7月9日

横浜ゴム、難燃性、接着信頼性の規格に適合し、 REACH 対応を図った電池パック向け接着剤を上市

横浜ゴム（株）は、一成分形速硬化型弾性接着剤「FLASH ONE」の新グレードとして、携帯電話やデジタルカメラなどのバッテリーとして使われるリチウムイオン電池パック向け接着剤「FLASH ONE/FE1-120」を開発した。同製品は高い難燃性（安全規格：UL94-V0 認証）や接着信頼性（安全規格：UL746C Temperature Index 80℃ 認証）を満足し、有機スズフリーでREACH（欧州化学物質規制）対応も完了している。すでに国内の大手電機メーカーから高い評価を得ており、年内の量産開始を予定している。

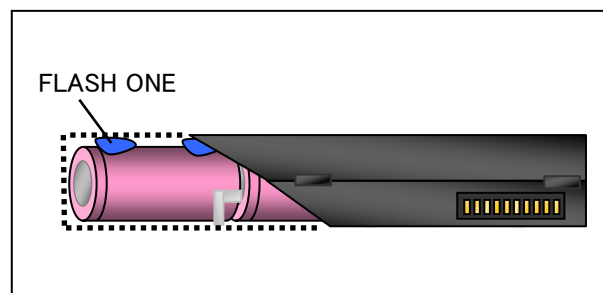
「FLASH ONE/FE1-120」は、主成分であるシリル基含有樹脂に独自の配合技術を加えることで、①難燃性に優れるため、発火の懸念があるアーク部位近くにも使用できる②シロキサンフリーのため接点不良が懸念される部位でも使用できる③低アウトガスのためセルを被覆する熱収縮チューブを侵食しない④接着信頼性に優れる、などの特長を持つ。このため同製品は様々な部位に使用可能で、従来、部位ごとに異なった接着剤を使用する必要のあったリチウムイオン電池パックの組み立て作業を大幅に簡素化することができる。

さらに同製品は化学物質規制にも十分配慮している。すでに使用が制限されているハロゲン系難燃剤、フタル酸エステルを含有しないほか、シリル基含有樹脂について従来から要望が高かった有機スズフリー仕様となっており、ジブジルスズやジオクチルスズなどを含有しない。

同製品はリチウムイオン電池パックに限らず、難燃性が求められる製品の組み立てに幅広く使用できることから、今後は携帯機器、自動車、住宅向け電池分野にも展開を図る方針。



「FLASH ONE/FE1-120」



「FLASH ONE/FE1-120」使用イメージ。電池パック内部でリチウムイオン電池と筐体を接着するのに使われる。

横浜ゴムは、新規事業開拓の一環として 2009 年から「FLASH ONE」シリーズを展開している。硬化が速いうえ、樹脂や金属、紙など様々な部材への優れた接着性能を発揮する。さらに、有機溶剤を使用しておらず、作業環境の改善や環境負荷の軽減が図られる。これらの特長が評価され、すでに OA 機器やスピーカー、太陽光発電モジュールなど多様な製品に採用されている。今後もユーザーへの提案型営業を推進し、新分野への応用拡大を図る。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：山下
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570